



本校HP URL



ブログURL

着任式 第一期始業式

令和6年度は着任式、引き続きの第一期始業式で始まりました。本年度は木内靖之校長以下12名の教職員が着任しました。始業式では、但農の中核を担う新2年生、新3年生が気持ちも新たに新年度の始まりに表情を引き締めていました。

新年度始まる！

第49回入学式挙行

本年度は、みのりと食科40名、総合畜産科32名の計72名が、第49回生として入学しました。新入生を代表して、みのりと食科沖田理愛菜さん（養父市立養父中学校出身）が宣誓を行いました。

翌日の対面式では、本校生徒会長（豊岡市立出石中学校出身）が歓迎の挨拶をしました。それを受けて、総合畜産科 赤在璃胡さん（豊岡市立出石中学校出身）が新入生代表挨拶を行いました。これ以降、新入生は身体計測、課題考査、2日間のオリエンテーションと忙しい日々を過ごし、但農生としての第一歩を踏み出しています。



入学式



対面式

野菜苗販売

みのりと食科が生徒・職員総出で育て上げた野菜苗を、今年も4月23日（火）～26日（金）に販売しました。

3月に種まきをし、ポットに植え替えて約1か月育成した野菜苗はおおよそ1万鉢。数と種類が多いため、授業・当番の時間だけではなかなか難しいのですが、何とか今年も販売期間に間に合いました。

本校の野菜苗は育成しやすく、何といても味が上々だと、毎年高評価を頂戴しています。そのため販売期間には本校保護者や地域住民の皆さん等々、事前に予約注文された方が行列をつくられるほどの盛況ぶりでした。

野菜苗の販売時期は本校ホームページ等で事前にお知らせしています。次回の苗販売をどうぞお見逃しなく。



苗販売・入雛実習

入雛（にゅうすう）実習

入雛実習とは生まれたての鶏の雛（ひな）の飼育実習のことです。生まれたての雛は非常に弱く、少しの環境変化が雛の大量死を招きかねません。この実習は、学校に泊まり込みで、生徒が親鶏の代わりに生まれたての雛を守り、育てる実習です。

今回実習を行ったのは、総合畜産科2年 谷垣煌大さん（豊岡市立出石中学校出身）と、辻北和真さん（豊岡市立豊岡南中学校出身）。鶏舎に運び終わった雛の健康状態を確認し、体重測定を行います。羽数を数えた後は、数時間おきの温度管理を一晚中行います。相手は生まれたての雛であるため、2人とも「夜通しの実習は疲れたけれども不思議と充実していました」と笑顔で話してくれました。

この雛たちを今後50日から80日かけて本校で飼育します。但農が誇るブランド鶏「但農どり」として将来出荷される雛もこの中にいます。毎年但農祭でも即完売してしまう但農どり。どちらかでお見かけになったら、迷わずお買い求めいただくことをおすすめします。



体育祭3年優勝！

本校の体育祭は、猛暑の時期を避け、過ごしやすいくこの時期に行っています。今年も五月晴れの空の下、爽やかな気候の中で体育祭を行うことができました。

気候は爽やかでもグラウンドでは白熱した競技が続きます。各クラスでは、放課後毎日毎日時間を費やして描いたお手製の応援旗が必死に振られました。3年生はクラス全員で注文した揃いのTシャツで大応援する姿が見られました。

応援の大歓声が響き渡る中、優勝を勝ち取ったのは3年生！「最後だから絶対勝ちたい」と言っていたとおりの真剣勝負で、体育祭を制することができました。



ほつてぃーす 授業参観

5月25日（土）、当日は

全学年午前3時間授業を行い、うち1・2校時を授業参観として保護者等の皆さんに公開しました。人気が高かったのはやはり農業科目の授業で、3年生みのりと食科の「食品製造」や、総合畜産科の「畜産（繁殖・鶏豚）」の授業には多くの参観者が集まっていました。「緊張した！」とは生徒の言葉だったか、教員の言葉だったか…。

3校時にはPTA総会を行い、お昼にはみのりと食科製造のメロンパンを召し上がっていただき、午後からは学年別懇談会・個別面談と盛りだくさんの一日となりました。

夏の主な行事予定

- 6/1 農学セミナー開講
- 6/13 農クリーダー講習会
- 6/18 県農ク家畜審査競技会
- 6/19 県農ク校内意見発表会
- 6/21 県農ク校内農業鑑定競技会
- 6/22 但農どり出荷実習
- 7/10 期末考査
- 7/10 球技大会
- 7/19 第一期終業式
- 7/23 県農ク鑑定競技会
- 7/24 県農ク大会
- 8/1 第一回オープンハイスクール